

巴川水系の景観について

巴川河口（概要版）

主な地区 江尻、入江、浜田、岡地区

中心市街地をゆったりと流れ、清水湊・江尻宿の歴史・文化などの資源や祭・イベントが豊富で、河畔プロムナードのある地域」

現況

- 清水港付近では、船の停泊、船関係や工場等が多く見られ、修景された橋、潮の香りやカモメなど港湾景観を形成している。（写真1,2）
- 旧東海道の江尻宿を中心に発達した中心商店街等があり、河川沿いには業務・商業系のビル、中高層のマンションなどの市街地景観を形成している。（写真10,14-19）
- また、清水港みなと色彩計画に沿った白とアクアブルーによる施設の塗り替えが進められている。
- 河川沿いには、神社とその社寺林が多く見られるほか、清水松井町公園での将棋指しの風景など、のどかな雰囲気も見られる。（写真9,13,14,17）
- 護岸の壁画や修景された道路が多く、散策やジョギングする人が見られる。（写真12,25,27,30-38）
- 江尻小学校付近や浜田地区の静岡鉄道鉄橋付近には親水護岸が見られる。（写真23,24,40）
- 灯籠流し・花火、水神祭、えびす講、みなと祭りなど季節ごとのイベントが賑わい景観となっている。

【巴川河口の状況】



【灯籠流し】



課題

- ・河川景観と港湾景観の調和
- ・河川から見える港湾施設の色彩の調和
- ・中心市街地の再生に貢献する河川整備
- ・市街地内を流れる快適な河川空間の維持と活用
- ・社寺仏閣の緑地の保全
- ・将棋愛好家のいる松井公園などや社寺仏閣など近隣住民活動の場との調和
- ・灯籠流し、水辺のコンサートなどの賑わい景観の維持
- ・巴川の歴史や文化の伝承
- ・水質の向上

関連計画

静岡市景観形成ガイドプラン
『清水みなとまち地域』の形成

巴川水系河川環境管理基本計画

【テーマ】
河畔プロムナードの形成と水面利用空間づくり

【基本的な施策】

- (1) 無秩序な係留の解消
- (2) 舟運の復活
- (3) 水面活用の促進
- (4) まちづくりの軸としての活用

河川景観形成に向けて

河川景観づくり

- 清水港みなと色彩計画や景観法による景観計画などとの整合
- まちづくりの軸としての水辺プロムナード景観の育成と右岸左岸の修景デザインの調和
- 富士山や龍爪山などの周辺の丘陵地借景を活かす視点場の確保と修景の促進
- 河川沿いの中高層マンション等の適切な誘導
- 灯籠流しや祭など歴史と文化を活かした良好な水辺づくり促進
- 市民・企業などとの協働による案内板等の設置
- 市民の暮らしの工夫による水質の向上

景観育て（人との関わり）

- 企業、建築・塗装関係者への啓発活動の促進
- 市民・市民団体、行政と協働による水辺景観を守り・育てるしくみづくり
- 地域住民や商店街、小学校などを中心に河川美化運動や清掃活動を促進
- 市民・事業者等の活動連携や市民サポーター等の育成
- 今は無い輸入材の筏運搬、魚河岸など地域産業の歴史と河川の関係などを記録と伝承
- 水質が向上する暮らしの工夫の啓発活動の促進

河川景観形成の方向性

市街地の再生が進む中で、歴史・文化や社寺の緑地などを活かした快適な市街地の水辺景観形成を図るとともに、祭やイベントなどの賑わいの創出を支援するなどの景観形成を目指す。

<景観要素>

項目	面的な景観要素	線的な景観要素	シンボル等の景観要素	人の集まる景観要素	その他の景観要素	
河川	ハード	船の係留指定場所 蘆の群生地	河川沿いの花壇 護岸の壁画 浜田・江尻の親水護岸 江尻・入江の河川沿い修景歩道	千歳橋、大正橋、柳稚児橋など修景された橋 JR鉄橋、情念川の水門	釣り、ボートの練習（平日夕方、休日） 河川沿いの散策・ジョギング（朝・夕方）	カモメ、水鳥 清水銀座商店街付近に橋上駐車場
	ソフト	-	-	灯籠流し、水辺のコンサート、花火 ボート練習風景	灯籠流し（稚児橋～港橋）7月	休日等将棋を行っている清水松井町公園 かつて、合板会社へ筏を組み上流する風景 旧清水市小学校の巴川下り船上観察 巴川の河童伝承
河川周辺	ハード	港湾付近：多くの港湾関係の工場・事務所 中心市街地；商業施設や中層マンション その他；混在する低層の住宅や併用住宅など	志みず道 美濃輪・次郎長通り商店街	社寺仏閣の樹木 中高層マンション 公園・広場	清水巴町公園、清水魚町公園（近隣住民）、清水浜田親水公園（市民）、清水松井町公園（将棋ファン）、江尻小前の親水護岸 江尻神社（少年サッカー発祥の碑）、水神社、西宮神社、美濃輪神社、壮士の墓、甲州廻米置跡、巴川製紙の門柱、次郎長船宿「末廣」、次郎長生家	造船のクレーン 江尻城、袋城など埋蔵文化財 壮士の墓、水神社、西宮神社 甲州廻米跡
	ソフト	臨港地区内の清水港みなと色彩計画による塗り替え	河川のゴミ清掃、草刈り活動	えびす講、水神祭り、港祭り	美濃輪神社祭典3月、水神大祭6月、清水港まつり8月、西宮神社のえびす講11月、河川清掃・草取り	地域まちづくり活動
河川視点場			河川沿いの眺望（龍爪山・富士山等への眺望）			

巴川河口景観図



●堤防の修景
堤防は低いところは、水面が近く明るい雰囲気。北部の山並みも借景として活かしている。



●堤防が高く汚れがひどいところは、街の裏側というイメージがある。



●八千代橋



●鉄橋



●橋上駐車場



●中心市街地周辺住宅地
中心市街地周辺はマンションなど中高層の建物が目立つ。



●河口周辺住宅地
河口周辺は古くからの住宅地が残っており、川辺から続く路地空間などが住民の暮らしを感じさせる。また、社寺仏閣が多く、河川に貴重な緑景観を提供している。



凡例

- 住宅が主体のエリア
- 商業地・商店街エリア
- 工場・倉庫等 業務主体のエリア
- 農地
- 桜などの植栽
- 親水護岸・護岸修景
- 公園・広場
- 特徴的な施設
- ランドマーク
- 眺望地点



●鉄道橋と工場景観。



●昔の合板会社を偲ばせる橋。



●江尻小学校前の親水護岸



●水辺を活かした飲食街



●商業地の裏通りとして、水辺を意識した店舗のつくりも見られる。



●中高層の建物が新しく建設されるなど景観が刻々と変化している。



●港の延長
千歳橋あたりまでは船の係留が見られる。以前は川からのアプローチも可能だったと思われる建物のつくりも見られる。



●北部の山並みを借景にした河口付近。



●河口から対岸の三保の工場景観を見る。



●堤防の壁面



●水門

巴川中流 (概要版)

主な地区 西奈南、飯田、高部、高橋地区

梶原山などを借景に住宅・産業が広がり、清水高部水辺公園 大内遊水地を活かした活動が期待される地域」

現況

- 高橋地区周辺は低層の住宅地が広がり、巴川水面に建物のシルエットが映る。(写真1~7)
- 飯田・能島地区は、梶原山などの丘陵地を借景とし、河川沿いの工業景観を形成しているほか、高速道路や国道1号BPが近接する。(写真11,26)
- 清水高部みずべ公園の北側では、大内遊水地の整備が進められている。(写真8~10)
- 清水高部みずべ公園は広場や親水護岸などが整備され、地域住民が散策したり、憩ったりしている。また、シンボルとなる歩行者用の巴流大橋があり、有度山や富士山などの眺望も楽しめる。
- 土手では散策を楽しむ市民の姿や春には桜の木や菜の花が咲き、川には水鳥が泳ぐなどの自然的な河川景観も見られる。(写真12~18)
- 東千代田地区周辺は、住宅景観を形成し、巴川は川幅が広がり、土手を挟んで長尾川と平行して流れる河川景観となっている。(写真27~32)

【巴川中流の状況】



【富士山への眺望】



<景観要素>

項目	面的な景観要素	線的な景観要素	シンボル等の景観要素	人の集まる景観要素	その他の景観要素	
河川	ハード	清水高部みずべ公園 大内遊水地 能島多目的遊水地	鳥坂・長崎付近の菜の花や桜並木、古庄付近の花壇 蛇行する旧巴川	巴流大橋(歩道橋)の斜張橋、長崎橋の欄干等修景	川沿いの散策・ジョギング(朝・夕方)	鴨などの水鳥棲息
	ソフト	-	-	-	-	かつてしじみ採り 巴川の河童伝説
河川周辺	ハード	工場や農地や一部に低層の住宅地	迫る東名及び国1バイパスの橋梁 目立つ高圧線の鉄塔	社寺仏閣 地域のランドマーク(清水警察署 公共施設建築物等) 清水高部みずべ公園等	鳥坂南公園(高齢者等のゲートボール)、清水高部みずべ公園(市民)	能島かわら工場 埋蔵文化財や館跡
	ソフト	-	河川のごみ清掃、草刈り等の活動	-	河川清掃・草取り	飯田・高部の地域活動
河川視点場		清水高部みずべ公園からの眺望(梶原山や有度山等)	川沿いの眺望(梶原山・富士山等)	-	梶原山頂上からの眺望(ゆるやかに蛇行する巴川)	

課題

- ・大内遊水地や清水高部みずべ公園など地域住民の防災・レクリエーション活動等の活動場の維持
- ・施設間歩行ネットワークの形成
- ・巴川の歴史や文化の伝承
- ・河川周辺環境の維持
- ・水質の向上

関連計画

静岡市景観形成ガイドプラン
『いほはらの里地域』の形成

巴川水系河川環境管理基本計画
【テーマ】
川沿いの空間を利用したスポーツ・レクリエーション空間づくり

- 【基本的な施策】
- (1) 能島低地の多目的利用
 - (2) 生態環境の保全・復元
 - (3) 河川空間の修景とレクリエーション利用

河川景観形成へ向けて

- 河川景観づくり
- 景観法による景観計画などとの整合
 - 地域住民の散策路や憩う水辺づくりの促進
 - 護岸天端の管理道路を散策路空間としての充実
 - 大内遊水地から清水高部みずべ公園等のネットワーク化の推進
 - 地域の歴史や伝説を伝承する説明板や道標などの公共サイン計画の検討
 - 高部の地域産業であった瓦などを部分的なアクセントとして利用する散策路・休憩施設などの検討
 - 清水高部みずべ公園を中心に、周辺の借景となる丘陵地の保全や農業景観の維持を促進
 - 市民の暮らしの工夫による水質の向上

景観育て(人との関わり)

- 市民・市民団体、行政と協働による水辺景観を守り・育てるしくみづくり
- 地域住民や、市民・市民団体を中心にアダプト制度等を活用した河川美化運動や清掃活動を促進
- 梶原影時、平安・鎌倉期などの歴史や河童伝説を伝承
- ボランティアガイド等との連携や案内マップの作成検討
- 河川景観に関する情報提供や河川愛護の普及、環境学習の充実
- 水質が向上する暮らし方の啓発活動の促進

河川景観形成の方向性

市街地との調和を図り、梶原山などの借景を活かしつつ、生態系への配慮、工業地の緑化、河川空間を活かしたレクリエーション利用を促進し、快適で楽しい水辺づくりなどの景観形成を目指す。

巴川中流景觀図

凡例

- 住宅が主体のエリア
- 商業地・商店街エリア
- 工場・倉庫等 業務主体のエリア
- 農地
- 桜などの植栽
- 親水護岸・護岸修景
- 公園・広場
- 特徴的な施設
- ランドマーク
- 眺望地点



n 東名高速道路との交差点



f 梶原山などの丘陵地が迫る



e 大内遊水地の俯瞰



d 清水高部・巴川みずべ公園周辺
3つの河川が合流する地点が公園化され、広々とした緑地・水辺景観をつくられている。富士山や日本平の眺望ができる。歩行者専用の斜張橋（巴川大橋）がランドマークとなっている



g 修景している長崎橋



o 並行して流れる長尾川。瀬名川南公園の木立が見える



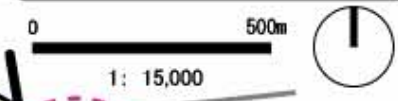
i バイパスの高架下を利用した鳥坂南公園はフェンスに囲まれ緑も少ない。巴川との連続性もみられない。



h 工場地周辺



p 草刈が行き届いた堤防は格好の散歩道



q 大谷放水路との合流地点



m 弥生公園



l 草で覆われた緩斜面の堤防、ゆったりと蛇行する水面、遠景の富士山や龍爪山



k 清水技術専門学校周辺



j 長尾川との合流地点周辺



b 緑地と親水護岸



c 蛇行する旧巴川は下水路化している



a 河川沿いに低層の住宅地

巴川上流(概要版)

主な地区 麻機、東千代田地区

龍爪山や賤機山を借景に自然を身近に感じ 麻機遊水地を活かした活動が行われている地域」

現況

- 東千代田、古庄地区は、低層の住宅地景観を形成し、巴川は北街道以北では河川法面に植栽のある河川景観が見られるが、以南ではコンクリート護岸の河川景観である。(写真1~8)
- 麻機遊水地は自然再生などに配慮した整備が進められ、市街地近郊の身近な自然景観と水辺景観を形成し、自然観察地として、近隣のレクリエーション地として利用されている。
- 麻機地区の北側丘陵地及び周辺は、住宅団地景観と従来の集落景観のある地区景観を形成し、巴川は川幅も狭く、コンクリート護岸により殺風景な河川景観となっている。(写真18,19)
- その下流では、龍爪山や賤機山を借景にした農地と住宅景観を形成している。(写真9~17)

【巴川上流の状況】



【観察会】



【柴揚漁】

<景観要素>

項目	面的な景観要素	線的な景観要素	シンボル等の景観要素	人の集まる景観要素	その他の景観要素	
河川	ハード	麻機遊水地の四季折々の良好な水辺景観	春に護岸沿いに黄色いセイヨウカラシナ、秋にはミズアオイなど多くの花が咲く 流通センター付近の護岸の花壇	河川沿いの独立樹木	朝夕の散歩・ジョギング河川天端 4月セイヨウカラシナの花 巴川土手の、ミズアオイ(秋)などが咲く遊水地など	年中30以上の鳥が見られる野鳥観察所
	ソフト	-	-	-	-	柴揚げ漁 生物・植栽などの観察会が行われている
河川周辺	ハード	上流部；丘陵地の住宅団地 中流部；農地、麻機遊水地、 春の新緑景観、秋にはミカン畑の景観		西側丘陵地に点在する社寺仏閣 地域のランドマークとなる県立こども病院など公共施設や流通センターの団地		県指定天然記念物「トウツバキ」 七所天神
	ソフト		河川のごみ清掃、草刈りなどの活動		浅畑スポーツランド 麻機遊水地及び周辺で、自然観察会、ゴミ拾い等の市民活動や巴川治水対策協議会の川の日親子でウォッチングを7月に、伝統的な漁法の柴揚げ漁1月から2月に行われる。 また、野鳥観測所での野鳥観察	「波止場」「船戸」「中荷土場」など海運に因む小字名がある 「沼のばあさん」の伝承
河川視点場	麻機遊水地周辺からの眺望 (丘陵地や農地景観)	丘陵地の農道からの眺望(市街地、集落等) 河川沿いの眺望(龍爪山等)				

課題

- ・自然生態系に配慮した環境形成を推進
- ・巴川の歴史や文化の伝承
- ・河川周辺環境の維持
- ・水質の向上

関連計画

静岡市景観形成ガイドプラン
『駿府の都地域』ゾーンの形成

巴川水系河川環境管理基本計画

【テーマ】
川沿いの空間を利用したスポーツ・レクリエーション空間づくり

- 【基本的な施策】
- (1) 麻機低地の多目的利用
 - (2) 生態環境の保全・復元
 - (3) 河川空間の修景とレクリエーション利用

河川景観形成に向けて

河川景観づくり

- 自然生態系に配慮した環境形成の促進
- ピオトープなどによる河川護岸整備など、多自然型河川づくり
- 麻機遊水地を重点とした良好な水辺景観の創出・景観法による景観計画などとの整合
- 周辺の借景となる丘陵地の保全や自然景観と一体になる住宅団地景観、集落景観の形成を促進
- 市民の暮らしの改善
- 山間地の森林育成との連携促進

景観育て(人との関わり)

- 市民・市民団体、行政と協働による水辺景観を守り・育てるしくみづくり
- 地域住民や市民・市民団体を中心に、アダプト制度等を活用した河川美化運動や清掃活動を促進
- 市民・NPO等が中心となって実施の自然・生物等の観察会等の継続
- 伝統漁法や伝説等の伝承
- 河川景観に関する情報提供や河川愛護の普及、環境学習の充実
- 水質が向上する暮らし方の啓発活動の促進

河川景観形成の方向性

自然との共生を図り、麻機遊水地の機能を活かし、既存農地の維持や生態系への配慮、河川空間を活かしたレクリエーション利用などによる景観形成を目指す。



巴川上流景観図

b 浅間神社参道
趣がある参道

c 羽高団地と河川
山間地を借景に中層住宅と
水路化する巴川

d 植の生け垣
落ち着いた閑静な
住宅地



a 斜面に中層住宅の
団地と低層住宅が密集
する



- 凡例
- 住宅が主体のエリア
 - 工場・倉庫等
業務主体のエリア
 - 農地
 - 丘陵地
 - 親水護岸・修景護岸
 - 散策路
 - 桜などの植栽
 - 公園・広場
 - 社寺仏閣・石碑等
 - 目立つ施設
 - 眺望地点

0 500m
1: 15,000

h 東禅寺の木々が周辺のアクセ
ントとなっている。



i 密集する低層住宅地水路のよ
うな川に住宅が接する。



g 国1バイパスと交差する。
周辺は工場が多く立地する。
散策道も一部整備されている。



大谷川放水路 (概要版)

主な地区 豊田、宮竹、富士見、大谷地区

駿河湾、有度山・龍爪山の眺望が良い住宅・工業市街地と農地を流れ、地域の散策等のレクリエーション利用される地域」

現況

- 巴川との合流付近は住宅地景観を形成し、コンクリート壁により殺風景な景観となっている。(写真1~5)
- JR付近は工業地景観を形成し、富士山、グランシップなどが眺望できる。(写真6~14-1)
- 宮竹地区付近は公園が近接する住宅地景観を形成し、放水路にはフェンスの緑化や植栽、花壇などが見られる。(写真15-1~17,19)
- ナスピ橋は休憩施設のある橋で、周辺が緑化され、放水路が見えない。(写真18)
- 富士見地区付近は、農地景観が広がり、有度山や富士山の山や丘陵地が眺望できる。(写真23,24)
- 海側付近は住宅地景観となり水門がシンボルとなっているほか、駿河湾が眺望できる。(写真30~34)

【河口の状況】



【巴川との合流地点の状況】



【緑化】



【有度山への眺望】



課題

- ・直壁護岸等の視覚的な改善
- ・道路防護策の色彩検討
- ・地域住民の散策等のレクリエーションの空間の維持
- ・河川周辺環境の維持
- ・水質の向上

関連計画

静岡市景観形成ガイドプラン
『駿河・登呂のまち地域』の形成

巴川水系河川環境管理基本計画
【テーマ】
海に連なるプロムナード空間づくり

【基本的な施策】

- (1) 人工空間の改善
- (2) 市街地と海をつなぐネットワークの形成

河川景観形成に向けて

河川景観づくり

- 植栽等による人工空間の改善による快適な水辺景観づくり
- 市街地と海をつなぐ散策路の空間整備の促進
- 直壁護岸が直接視認できないように植栽、緑化フェンス等による緑化の促進
- 市街地と海をネットワークする誘導板等の整備促進
- 借景となる富士山や龍爪山、有度山の眺望地点確保を検討
- 市民の暮らしの工夫による水質の向上

景観育て(人との関わり)

- 市民・市民団体、行政と協働による水辺景観を守り・育てるしくみづくり
- 地域住民や学校・市民・市民団体を中心に、アダプト制度等を活用した河川美化運動や清掃活動を促進
- 河川景観に関する情報提供や河川愛護の普及、環境学習の充実
- 水質が向上する暮らしの工夫の啓発活動の促進

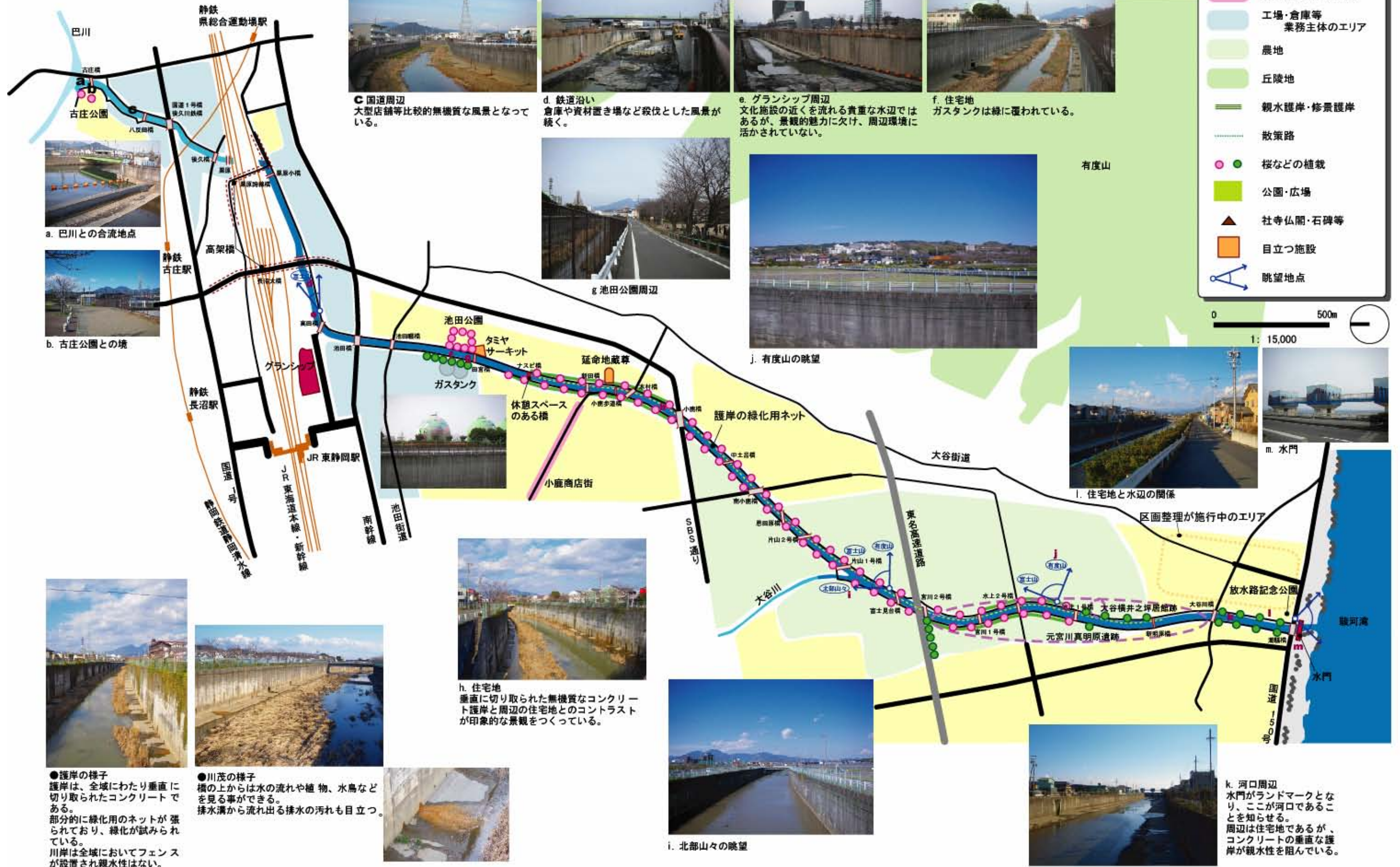
河川景観形成の方向性

市街地と海をつなぐ歩行ネットワークの形成や快適な居住環境づくりを促進していくために、人工的な放水路を河床(洲、淵)の改善や地域住民との協働による護岸壁面の緑化、環境にやさしい塗装等による景観形成を目指す。

<景観要素>

項目		面的な景観要素	線的な景観要素	シンボル等の景観要素	人の集まる景観要素	その他の景観要素
河川	ハード	-	コンクリートの3面張り 桜等の樹木 沿川花壇、フェンス 散策道	ナスピ橋(橋面上にテラス)の橋 巴川との合流地点の記念碑・広場 河口の水門	水路沿い散策・ジョギング(朝・夕方)	水鳥、生物棲息
	ソフト	-	-	-	-	沼のばあさんの話
河川周辺	ハード	上流部: 倉庫・工場・資材置き場、大型商業施設等 中流部: 主に低層の戸建て・集合住宅中心の住宅地 東名高速道路周辺は農地 下流部: 住宅地、一部が区画整理施行中	鉄道	延命地藏尊社寺仏閣 グランシップ、タミヤのサーキット、ガスタンク等ランドマーク 放水路記念公園・池田公園・古庄公園	グランシップ、タミヤサーキット - 古庄公園、池田公園、放水路記念公園	
	ソフト	-	河川のごみ清掃、草刈り、花壇の手入れ	-	-	
河川視点場			河口からの眺望(駿河湾の眺望)	広大な農地からの眺望(富士山・龍爪山・有度山等)	-	-

大谷川放水路景観図



- 凡例**
- 住宅が主体のエリア
 - 商業地・商店街エリア
 - 工場・倉庫等
業務主体のエリア
 - 農地
 - 丘陵地
 - 親水護岸・修景護岸
 - 散策路
 - 桜などの植栽
 - 公園・広場
 - 社寺仏閣・石碑等
 - 目立つ施設
 - 眺望地点

0 500m
1: 15,000



c. 国道周辺
大型店舗等比較的無機質な風景となっている。



d. 鉄道沿い
倉庫や資材置き場など殺伐とした風景が続く。



e. グランシップ周辺
文化施設の近くを流れる貴重な水辺ではあるが、景観的魅力に欠け、周辺環境に活かされていない。



f. 住宅地
ガスタンクは緑に覆われている。



g. 池田公園周辺



j. 有度山の眺望



l. 住宅地と水辺の関係



m. 水門



h. 住宅地
垂直に切り取られた無機質なコンクリート護岸と周辺の住宅地とのコントラストが印象的な景観をつくっている。



i. 北部山々の眺望



k. 河口周辺
水門がランドマークとなり、ここが河口であることを知らせる。周辺は住宅地であるが、コンクリートの垂直な護岸が親水性を阻んでいる。



a. 巴川との合流地点



b. 古庄公園との境



●護岸の様子
護岸は、全域にわたり垂直に切り取られたコンクリートである。部分的に緑化用のネットが張られており、緑化が試みられている。川岸は全域においてフェンスが設置され親水性はない。



●川茂の様子
橋の上からは水の流れや植物、水鳥などを見る事ができる。排水溝から流れ出る排水の汚れも目立つ。



長尾川(概要版)

主な地区 西奈、西奈南、北沼上地区

親水護岸と丘陵地の自然が調和し、桜並木と散策道のある住宅市街地が 広がり、地域レクリエーション活動が行われる地域」

現況

- 巴川との合流付近は住宅地景観が広がり、巴川と平行して流れる。瀬枯れして、水の無い河川景観となっている。写真(1~8)
- 瀬名付近では、天井川となり土手の下に密集した住宅地景観が見られるが、桜並木が美しく、散策やジョギングする人が見られる。(写真9~24)
- 西奈付近では、山が迫り、住宅地景観と調和している。河川は親水護岸となり、周辺と一体となっている。(写真25~34)
- 上流部は山がさらに迫り、ほとたるの生息地など水質もよく、落差工など水の音も心地よい。(写真35~45)
- 平沢地区から龍爪山にかけて、茶畑と木々、丘陵地が迫る。玉石護岸や川の中の大きな川石も見られる(写真46~56)

【住宅市街地の状況】



<景観要素>

【親水護岸のある地区の状況】



【親水護岸】



課題

- ・ホタルの生息地など自然生態系に配慮した環境形成を推進
- ・地域住民の散策等のレクリエーションの空間の維持
- ・河川周辺環境の維持
- ・水質の向上

関連計画

静岡市景観形成ガイドプラン
『駿府の都地域』の形成

巴川水系河川環境管理基本計画

【テーマ】
原風景の川、自然とのふれあい水辺空間づくり

川沿いの空間を利用したスポーツ・レクリエーション空間づくり

【基本的な施策】

- <山地>
 - (1) 水源地帯の保全
 - (2) 自然の保全
 - (3) 親・親生物空間づくり
- <低地>
 - (1) 生態環境の保全・復元
 - (2) 河川空間の修景とレクリエーション利用
身近な親水空間づくり

河川景観形成への課題

- 河川景観づくり
- 自然生態系に配慮した環境形成を促進
 - ピオトープなどによる河川護岸整備など、多自然型河川づくり
 - 良好な水辺景観の創出
 - 護岸天端の管理道路を散策路空間として充実
 - 桜並木等の保全促進
 - 周辺の借景となる丘陵地の保全や自然景観と調和する住宅団地景観の形成を促進
 - 龍爪山等の森林保全
 - 市民の暮らしの工夫による水質の向上

景観育て(人との関わり)

- 市民・市民団体、行政と協働による水辺景観を守り・育てるしくみづくり
- 地域住民や学校・市民・市民団体を中心に、アダプト制度等を活用した河川美化運動や清掃活動を促進
- 龍爪山信仰などの歴史文化の伝承
- 河川景観に関する情報提供や河川愛護の普及、環境学習の充実
- 水質が向上する暮らし方の啓発活動の促進

河川景観形成の方向性

自然と共生した居住環境の形成や地域コミュニティの醸成を促進し、ホタルや水生動植物の生息環境の保全や近接する丘陵地や既存樹林の保全を促進していくために、既存の桜並木を活かした散策空間や親水空間のソフトの充実・拡大などによる景観形成を目指す。

項目	面的な景観要素	線的な景観要素	シンボル等の景観要素	人の集まる景観要素	その他の景観要素	
河川	ハード	-	河川沿いの花壇 護岸法面の壁画 親水護岸が多くあり、中流域の親水護岸は周辺と調和 瀬枯れする中・下流域、中流部は天井川	滝となる段差と茶畑 中高等学校メタセコイヤの独立樹	河川沿いの桜並木4月、河川沿いの散策・ジョギング(朝・夕方)	水鳥の棲息
	ソフト	-	-	かつて平野などに水車が存在	-	-
河川周辺	ハード	上流部：山が迫り、低層の住宅地や農地 中流部：狭隘な道路に密集した低層の住宅地 下流部：沿川に住宅地	中流域の桜並木の散策道路	利倉神社等の社寺仏閣 地域のランドマーク(高校・福祉施設等の教育福祉施設) 公園・広場	瀬名川南公園、川合公園、南沼上公園、瀬名スポーツ広場、桜藪第一緑地、あしがや公園 利倉神社、川合神明神社	長尾砦(北沼上の外場山) 中流から上流のホタルの生息地 温泉が川沿いに点在 切石
	ソフト	-	河川のゴミ清掃、草刈り	-	花祭4月、子安地藏祭(長尾)9月、白山神社祭/利倉神社祭10月 河川清掃・草取り	水梨の地名、西奈八景の歌川合の水神様、道白平、龍爪山伝説
河川視点場	-	-	河川沿いからの眺望(龍爪山等) 梶原山山頂からの眺望(長尾川等)	-	-	-

長尾川景観図



●第二東名自動車道周辺ガードレールを茶系にするなど、周辺景観への配慮がある



l ベンチのある散策道があり、桜並木と調和して快適な景観となっている。

h 親水護岸や散策路があり、気持ちの良い河川空間となっている。



c 川合公園が眼下にある。この辺りは、天井川となっている。低層住宅が密集し、狭隘道路が多い。



a 北街道以南は緩傾斜の護岸で、周辺は低層住宅地。冬場の下流部は瀬枯れている。



n 橋の下の滝と茶畑、借景の第2東名、龍爪山が印象的である。



m 北沼上排水場の円錐が目立つ。



トホテルの生息地

- 凡例**
- 住宅が主体のエリア
 - 工場・倉庫等業務主体のエリア
 - 山林
 - 桜などの植栽
 - 親水護岸・護岸修景
 - 公園・広場
 - 特徴的な施設
 - ランドマーク
 - 眺望地点



i 木々に囲まれ中層の住宅団地が川に近接し、修景された親水護岸となっており、散策や休憩する人が多く見られる。サギなどの鳥も見られる。



f 水梨橋上流は山が迫り、川の左岸川近くには低層住宅地があり、散策道や緑地・植栽など緑が多い。



j 近くの小高い山が目印となり、川に近接する低層の住宅や沿川の木々と調和している。



g 西奈橋の川下で、山のスカイラインと周辺木々、低層住宅が調和して、のどかな景観となっている。



e 桜並木春には河川に水が流れ、散策する人が多く見られる。



d 国道1号バイパスと交差点。龍爪山を借景に散策する人が多く見られる。



大沢川(概要版)

主な地区 船越、岡、入江地区

有度山丘陵地を借景に住宅市街地が拡がり、桜並木と環境護岸の快適な水辺景観の中で地域コミュニティ活動が進む地域」

- 現況
- 巴川との合流付近は工場と住宅地が混在した市街地景観を形成する。(写真1~4)
 - 追分付近は、低層住宅地景観を形成し、川沿いに石碑が見られる。(写真5~8)
 - 大沢町付近は、区画整理後の住宅地景観を形成する。土手には桜並木があり花見時期には多くの人で賑わう河川景観となっている。(写真11~17)
 - 船越小付近では良好な住宅地景観が広がるが、大沢川はコンクリート護岸により殺風景な河川景観となっている。(写真18~22)
 - 上流は有度山丘陵地の良好な自然景観やミカン畑と既存集落景観を形成する。(写真24)

【巴川との合流地点の状況】



【桜並木のある地区の状況】



【桜並木】



課題

- ・桜並木を活かした水辺景観の維持・育成
- ・河川周辺環境の維持
- ・水質の向上

関連計画

静岡市景観形成ガイドプラン『清水みなとまち地域』の形成

巴川水系河川環境管理基本計画
【テーマ】
身近な水辺と桜の空間づくり

【基本的な施策】
(1) 身近な親水空間づくり

河川景観形成に向けて

- 河川景観づくり
- 近隣住民と行政の協働による桜など四季を感じる植栽ある親水河川景観を守り・育てる
 - 大沢町及び周辺住民を中心とした良好な水辺景観の創出を促進
 - 有度山の森林保全の促進
 - 市民の暮らしの工夫による水質の向上

- 景観育て(人との関わり)
- 市民・市民団体、行政と協働による水辺景観を守り・育てるしくみづくり
 - 地域住民や市民・市民団体を中心に、アダプト制度等を活用した河川美化運動や清掃活動を促進
 - 河川景観に関する情報提供や河川愛護の普及、環境学習の充実
 - 水質が向上する暮らし方の啓発活動の促進

河川景観形成の方向性

身近な親水空間の充実や地域コミュニティの醸成を図り、快適な居住環境形成を促進するために、既存の桜並木を活かした散策空間や親水空間のソフトの充実・拡大などによる景観形成を目指していく。

<景観要素>

項目	面的な景観要素	線的な景観要素	シンボル等の景観要素	人の集まる景観要素	その他の景観要素	
河川	ハード	-	河口部：三面張コンクリート護岸で下水路的な景観 中流部：環境護岸や法面に植栽や桜並木、散策道があり、生活と一体となる景観 上流部：茶畑・ミカン畑と玉石護岸の景観	区画整理事業等の記念碑	河川沿いの桜並木4月、河川沿いの散策・ジョギング(朝・夕方) 日本平ハイキング道(休日)	鉄道下歩道
	ソフト	-	-	潮入橋などの名称	大沢町付近桜まつり4月、河川清掃・草取り	鴨などの野鳥 かつて矢部の渡し 館跡などの埋蔵文化財
河川周辺	ハード	巴川との合流：住宅地、住工 地 中流域：区画整理後の住宅地、 南幹線沿のロードサイド型商業 上流：果樹農地、住宅地	南幹線道路沿道の並木、ツツジ	能満寺等の社寺仏閣 清水春日公園、清水大坪公園	清水春日公園、清水大坪公園(近隣住民) 能満寺、北矢部伊勢明神宮 南幹線沿いロードサイド商店	
	ソフト	-	河川のゴミ清掃、草刈り	3地区合同桜祭り(平成19年3月 から)	船越公園の桜4月	かつて田ごと富士 送り神
河川視点場		-	桜並木の土手 河川沿いからの眺望(富士山・龍爪 山等)			

大沢川景観図

m 北矢部伊勢神明宮



l 下水路的な河川沿道に低層住宅



f 鉄道下の歩道



g 鉄道沿い工場地
工場が多く立地する。

h 沿道商業地
南館線沿いに飲食系店舗が比較的多い景観。
法面護岸で桜も植わり近寄りやすい。

鴨が水浴び



e 大沢川改修の碑



凡例

- 住宅が主体のエリア
- 商業地・商店街エリア
- 工場・倉庫等 業務主体のエリア
- 農地
- 丘陵地
- 親水護岸・修景護岸
- 散策路
- 桜などの植栽
- 公園・広場
- 社寺仏閣・石碑等
- 目立つ施設
- 眺望地点



n 玉石の護岸の起点地
ミカン等の果樹園の丘陵地景観と砂防ダムが目立つ玉石護岸で周りと調和した景観で近づきやすいが水質があまりきれいではない。



k 河川は水路状で3階建ての住宅も見られる。



j 桜並木
終戦直後には、川沿いに生活する人もいた。
土手沿いの道は、散策する人が多く見られる。
道路沿いには低層の住宅が多く、生活との一体感がある。



l 住宅地
区画整理施行後の住宅が多く存在する景観。
親水護岸整備も一部に見られる桜並木が見事な景観を成し、近寄りやすい。
また、公園も隣接し、日常的に人が集まる。
桜並木沿いは散策する人が見られる。

d 住宅地
区画整理施行後の住宅が多く存在する景観。
コンクリート護岸で水路的な大沢川で近寄りにくい。



C 住工混在する住宅地
工場と住宅が混在する景観。一部に法面も見られるが多くはコンクリート護岸で水路的な大沢川で近寄りにくい。
また、工場の裏側の景観となっている。



a 巴川との合流地点



b 川沿いに黄色が目立つ娯楽施設

